

## ◆ 平成28年度 活動報告シート ◆

団体名：桜エコ・フェスタ 2016 実行委員会

19A-45

代表者：実行委員長 相浦卓也

URL : <http://sakura-kc.saitama.jp/kankyo/>

### 1. 活動が必要とされた状況

限りある地球資源の枯渇を防ぎ、豊かな自然環境や資源を残していくためには、従来の大量生産・大量消費・大量廃棄型の生活を見直し、環境負荷の少ない循環型社会を構築することが必要です。平成27年4月開設のごみ処理施設「さいたま市桜環境センター」に付設された、市民の環境活動の拠点「環境啓発施設」にて、3Rの推進や環境啓発をテーマにしたフェスタを開催することで、施設の周知・活用や、環境活動団体同士の交流を図り、循環型社会への移行を促進します。



メインディスプレイ

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

名称：「桜エコ・フェスタ 2016」

- ・ 実行委員会：9月10日(土)、10月14日(金) 実施（展示パネル、ブースの作り方ミニ講座、同時開催）
- ・ 実施日時：11月27日（日）10:00～16:00
- ・ 実施会場：さいたま市桜環境センター・環境啓発施設
- ・ 参加団体：32団体（授産製品見本市参加の9団体を含む）
- ・ 来場者数：約1,400名
- ・ 実施内容：①ごみ処理施設特別見学会②環境活動団体の展示・体験ブース③環境ミニ講座④ステージパフォーマンス等（授産製品見本市を同時開催）



### 3. 活動の成果

- ・ チラシ配布等により昨年を上回る約1,400名の来場者を迎え、施設の周知につながった。
- ・ 団体コラボ企画により昨年以上に参加団体同士の交流があり、お互いの理解がより深まった。
- ・ 来場者アンケートでは、約7割の方が環境／3Rへの関心が深まったと回答。多種多様な企画や団体紹介冊子によって、環境活動に触れるきっかけを提供できた。

### 4. 今後に残された課題

- ・ 環境フェスタとしての特色を更に強く出すこと、屋外会場の活性化、アンケート回収率の向上。